

教育目標

- ・よく見、深く考えて学習に努力する生徒になろう
- ・心豊かで、よい環境づくりをする生徒になろう
- ・働くことをよこび、よく運動する生徒になろう
- ・友達との結びつきを深め、世の中に役立つ生徒になろう

コミュニケーションの大切さ

校長 蠣崎 浩一

暑い夏が終わり、北海道に短い秋がやってきました。これから迎える厳しい冬に向けての準備期間となります。季節の変わり目がありますので、健康に留意されますようお願いいたします。

さて、今月は怖い話から始まります。こんな話を聞いたことがありますか。

今から800年ほど前に、神聖ローマ帝国ホーエンシュタウフェン朝の皇帝フリードリヒ2世が、50人の新生児にした残酷な人体実験の話です。

それは、「赤ちゃんの面倒を見る際、目を見てはいけなく、笑いかけてもいけない、語り掛けてもいけない、ふれあいを一切してはいけない」と命じたものです。乳母や看護師からは十分なミルクを与えられたり、おむつの交換などはされていましたが、愛情を与えられなかった赤ちゃんは3歳までに49人が死亡し、残りの一人は6歳までに死亡したということです。

この実験からわかることは、「赤ちゃんは、スキンシップがないと死んでしまう」ということです。子どもは小さい頃にはスキンシップ、大きくなってくるとコミュニケーションをとるようになります。しかし、このコミュニケーションが不足すると情緒の成長に大きな影響を与えることになります。

最近聞いた話ですが、「授乳時にスマホを見ている母親」「家庭内、ラインで用事を伝える家族」など、家庭内でコミュニケーション不足だと思われることが多くあります。これでは先ほどの話のように、まっとうな人間に育たないのではないのでしょうか。

SNSの普及により、顔を合わさなくてもコミュニケーションが取れるようになりました。ある意味便利ではありますが、互いの心は目と目で通じ合うところがあります。顔を合わせることがないと他者の真意はわかりません。SNSでは、そのためにすれ違い、互いを誤解してしまうことでトラブルが起きています。やはり、相手の表情を見ながらコミュニケーションをとることが絶対に必要であると言えます。

そのようなコミュニケーションの取り方を教えてくれるのが、家庭であり、地域社会であり、学校のような同年代が多く集まる所だと思います。

厚中生がコミュニケーションをとることが上手ではないとは思いません。ただ、自分の気持ちや考えを相手にわかりやすく伝えることが苦手な生徒は見受けられます。これは、練習することで上手になります。顔を合わせてコミュニケーションをとる機会をできるだけ多くして、自分の言葉で伝える、相手の言いたいことを正確に理解することができるような人間に育てていきたいと考えています。そのため、ベースは家庭にあると思っています。子どもの心が理解できる大人、大人の心が理解できる子どもになれるようにしていきたいと願っております。

厚中生の足跡

☆バドミントン部☆

釧路地区秋季バドミントン大会
(9月7日(土) 釧路町総合体育館)

男子シングルス

1回戦 0-2 ●

1回戦 0-2 ●

女子団体 対 白糠学園 1-2

女子シングルス

1回戦 0-2 ●

1回戦 シード 2回戦 0-2 ●

女子ダブルス

1回戦 2-1 ○ 2回戦 0-2 ●

1回戦 0-2 ●

☆野球部☆

第18回忠和グループ旗争奪中学校選抜野球大会

9月16日(月) (阿寒町野球場)

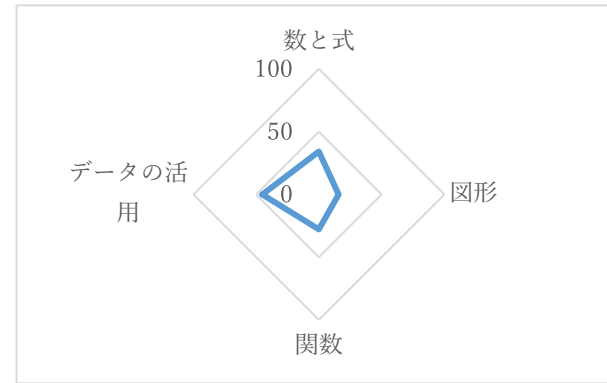
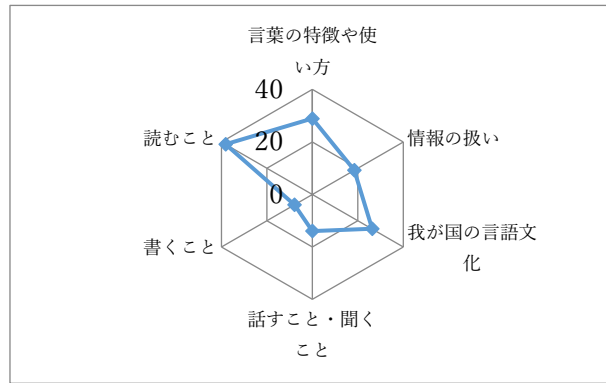
対 景雲中学校 0-9 1回戦敗退

保育実習

9月25日(水)、3年生が厚岸保育所にご協力いただき、保育実習を行いました。コロナにより数年実施していなかった活動です。生徒たちは、全体で自己紹介をした後、グループに分かれ一緒に遊び、子どもとの関わり方について学びました。

令和6年度 全国学力・学習状況調査 分析結果

1 各教科の検査結果



2 全国学力・学習状況調査の結果から分析する成果と課題・授業改善策

(1) 国語科

【成果】 主語と述語の関係など文の成分の順序や照応に着目して文の意味や効果について考えることができている。(言葉の特徴や使い方に関する事項2才)

【課題】 目的に応じて自分の考えを説明したり相手を説得したりするために文章を作成し、工夫する力に課題が見られる。文章と図表を結び付けてその関係を踏まえて文章の効果や解釈を考える力に課題がある。

【改善策】

○全学年の授業の改善に関わって

授業における課題に対して、自分の考えを表現する場を設定し、様々な表現の方法に触れることで自分の考えを相手に効果的に説明する力を養う。

○3学年の授業の改善に関わって

予習を主とした家庭学習を活用し取り組ませることで知識・技能の定着を図る。考えを発表する授業段階や言語活動を設定し、自分の考えを相手に伝えるように工夫したり説得力を持たせるための技法の習得を図る。

(2) 数学科

【成果】 資料から必要な情報を読み取り、その情報を利用して解くことができている。また、身に着けた知識や技能をもとに解くことができた。

【課題】 直前に学習した内容はある程度定着しているが、期間が開いたものについては、定着していない。特に、思考・判断・表現の問題では、表現の方法が身につけていないため書けないことが多い。

【改善策】

○全学年の授業の改善に関わって

宿題や家庭学習等で問題に取り組ませ、知識・技能の定着率を上げる。また、予習に取り組ませ、授業内での理解を深め、授業内でも問題演習を取り組む時間を増やし、さらに定着率を上げる。

○3学年の授業の改善に関わって

知識・技能を定着させることができるよう、予習することを意識させ、予習した内容をもとに授業内での確認する時間を減らすとともに問題演習の時間を増やし、授業内で定着できるようにする。家庭学習等で反復学習によって、さらに定着できるようにする。

日	曜	行事	下校バス	部活バス
1	火	後期組織決め 朝会(書記局認証式) 離任式	15:50	17:40
2	水	歩き登校日 後期専門委員会	15:50 16:40	
3	木	ALT 後期専門委員会	15:50 16:40	17:40
4	金	図書室開放 スクールカウンセラー	15:50 16:40	17:40
5	土			
6	日			
7	月	ALT	14:50	
8	火	職場体験学習(2年)	15:50	17:40
9	水	職場体験学習(2年) 歩き登校日	15:50	
10	木	学力テスト総合B ALT 高校説明会① 議案書審議	15:50	17:40
11	金	高校説明会② 図書室開放	15:50 16:40	17:40
12	土	10月行事予定表		
13	日			
14	月	スポーツの日		
15	火	朝会(専門委員長認証式) 道民交通安全の日	14:50	
16	水	歩き登校日 避難訓練 後期専門委員会	14:50 15:40	
17	木	ALT 生徒総会リハ	15:50	17:40
18	金	図書室開放 生徒総会	15:50 16:40	17:40
19	土			
20	日			
21	月	Q-U いじめアンケート調査	14:50	
22	火	翔洋高校体験入学(1年) ケータイ安全教室(1年)	15:50	17:40
23	水	歩き登校日 色覚検査(~25日)	14:50	
24	木	ALT アルバム撮影(個人) 企業交流会(1・2年)	15:50	17:40
25	金	図書室開放	15:50 16:40	17:40
26	土			
27	日			
28	月	ALT	14:50	16:40
29	火	後期専門委員会	15:50 16:40	17:40
30	水	歩き登校日	14:50	
31	木	ALT	14:50	